2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

上 場 会 社 名　　滝沢ハム株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　2293　　URL　https://www.takizawaham.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　瀧澤太郎
問合せ先責任者　（役職名）　常務取締役管理本部長（氏名）　山口　輝　　(TEL) 0282－23－5640

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	13,745	3.7	△283	―	△283	―	△201	―
2026年３月期中間期	13,256	△5.1	△226	―	△220	―	△229	―

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△190百万円（　―%）　2026年３月期中間期　△150百万円（　―%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△98.05	―
2026年３月期中間期	△111.89	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	11,837	3,148	26.6
2026年３月期	12,065	3,338	27.7

（参考）自己資本 2027年３月期中間期　3,148百万円　2026年３月期　3,338百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,195	6.1	△250	―	△260	―	△105	―	△51.13

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：無

新規　　―社（社名）―　　、除外　　―社（社名）―

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	2,102,000株	2026年３月期	2,102,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	48,469株	2026年３月期	48,469株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	2,053,531株	2026年３月期中間期	2,053,531株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想等のご利用に当たっての注意事項等については、添付書類３ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9
（重要な後発事象） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、緩やかな回復基調が見られたものの、米国の関税政策を巡る動向やウクライナ情勢の長期化に加え、中東情勢の緊迫化に伴う原油等のエネルギー価格の上昇など、先行きは依然として不透明な状況が続きました。国内経済においては、雇用・所得環境に改善の動きが見られ、景気は緩やかな回復基調にある一方、物価上昇が継続しており、個人消費の動向には引き続き注視が必要な状況となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、原材料価格やエネルギーコストの上昇など、依然として厳しい状況にあります。このような環境のもと、当社グループは、「消費者に感動を与え続ける商品をお届けし、地元愛と共に社員満足の高い食品企業への成長を続ける」というビジョンステートメントのもと、「新商品の開発と販売促進の強化」「生産・加工体制の見直しによる生産性向上」「原価低減施策の継続」「仕入先の多様化や規格変更による原材料調達リスクの低減」などの施策に取り組んでまいりました。

販売面においては、物価上昇に伴う消費者の節約志向などを背景に、食肉加工品の販売数量が減少した一方、惣菜・食肉では新商品の導入などにより販売が回復傾向となりました。この結果、当中間連結会計期間の売上高は137億45百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

損益面においては、輸入牛肉を中心とした原材料価格の上昇に加え、中東情勢の影響によるエネルギーコストや包装資材コストの上昇などが収益を圧迫し、厳しい状況となりました。

その結果、営業損失２億83百万円（前年同期２億26百万円の営業損失）、経常損失２億83百万円（前年同期２億20百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する中間純損失２億１百万円（前年同期２億29百万円の親会社株主に帰属する中間純損失）となりました。

部門別の概況は以下のとおりです。

食肉加工品部門

食肉加工品部門につきましては、ハム・ソーセージ等の販売数量が減少し、売上高は47億31百万円（前年同期比7.1%減）となりました。

惣菜その他加工品部門

惣菜その他加工品部門につきましては、新商品の導入等もあり、売上高は28億57百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

食肉部門

食肉部門につきましては、輸入ビーフ及び輸入ポークの取扱いが増加し、売上高は61億４百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

その他部門

その他部門につきましては、外食部門等の売上高は51百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①　資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ２億28百万円減少し、118億37百万円となりました。これは主に商品及び製品が２億32百万円、売掛金が１億32百万円増加しましたが、現金及び預金が５億39百万円減少したことによるものです。

当中間連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ37百万円減少し、86億88百万円となりました。これは主に買掛金が２億95百万円増加しましたが、長期借入金が１億89百万円、未払消費税が52百万円、短期借入金が40百万円、長期リース債務が38百万円、１年内支払リース債務が32百万円減少したことによるものです。

当中間連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ１億90百万円減少し、31億48百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純損失の計上等により利益剰余金が２億１百万円減少したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比べ５億39百万円減少し、11億１百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における営業活動の結果支出した資金は、１億94百万円（前年同期は２億90百万円の収入）となりました。主な内訳は、税金等調整前中間純損失１億93百万円、棚卸資産の増加２億71百万円、売上債権の増加１億32百万円、投資有価証券売却益98百万円、未払消費税等の減少52百万円、減価償却費２億68百万円、仕入債務の増加２億95百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における投資活動の結果得られた資金は、16百万円（前年同期は41百万円の支出）となりました。主な内訳は、投資有価証券の売却による収入１億33百万円、有形固定資産の取得による支出71百万円、無形固定資産の取得による支出35百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当中間連結会計期間における財務活動の結果支出した資金は、３億61百万円（前年同期は18百万円の収入）となりました。主な内訳は、長期借入金の返済による支出２億54百万円、リース債務の返済による支出１億31百万円、短期借入れによる収入25百万円であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期の業績予想につきましては、2026年11月９日に通期の業績予想を変更しております。詳細につきましては、2026年11月９日に公表の「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,966,855	1,427,824
売掛金	2,504,200	2,637,169
商品及び製品	990,789	1,223,542
仕掛品	242,944	226,242
原材料及び貯蔵品	225,013	280,099
その他	46,173	74,464
貸倒引当金	△2,499	△2,632
流動資産合計	5,973,476	5,866,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,307,970	1,239,765
機械装置及び運搬具（純額）	275,739	290,592
土地	1,577,122	1,576,988
リース資産（純額）	564,619	499,861
その他（純額）	93,672	101,329
有形固定資産合計	3,819,123	3,708,537
無形固定資産	242,336	234,356
投資その他の資産		
投資有価証券	1,553,009	1,546,140
退職給付に係る資産	216,223	218,675
その他	273,001	274,426
貸倒引当金	△11,974	△11,750
投資その他の資産合計	2,030,260	2,027,492
固定資産合計	6,091,720	5,970,386
資産合計	12,065,197	11,837,096

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,151,385	2,447,225
短期借入金	3,291,413	3,250,615
１年内償還予定の社債	200,000	200,000
リース債務	225,805	193,186
未払法人税等	36,224	25,426
賞与引当金	65,503	37,992
その他	789,845	787,587
流動負債合計	6,760,177	6,942,033
固定負債		
長期借入金	780,400	591,214
リース債務	406,600	367,783
繰延税金負債	354,319	358,196
執行役員退職慰労引当金	17,933	19,797
退職給付に係る負債	294,444	301,382
その他	113,015	108,529
固定負債合計	1,966,713	1,746,904
負債合計	8,726,890	8,688,937
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,080,500	1,080,500
資本剰余金	684,424	684,424
利益剰余金	788,530	587,180
自己株式	△5,103	△5,103
株主資本合計	2,548,351	2,347,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	670,981	688,571
退職給付に係る調整累計額	118,973	112,585
その他の包括利益累計額合計	789,954	801,157
純資産合計	3,338,306	3,148,159
負債純資産合計	12,065,197	11,837,096

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	13,256,304	13,745,181
売上原価	11,518,160	12,059,950
売上総利益	1,738,143	1,685,231
販売費及び一般管理費	1,964,583	1,968,789
営業損失（△）	△226,440	△283,558
営業外収益		
受取利息	286	437
受取配当金	20,032	19,504
受取賃貸料	13,534	13,504
補助金収入	2,937	3,856
その他	3,355	5,187
営業外収益合計	40,145	42,489
営業外費用		
支払利息	31,603	40,379
その他	2,470	1,774
営業外費用合計	34,073	42,153
経常損失（△）	△220,368	△283,222
特別利益		
投資有価証券売却益	－	98,055
特別利益合計	－	98,055
特別損失		
固定資産除却損	862	7,800
減損損失	－	133
特別損失合計	862	7,933
税金等調整前中間純損失（△）	△221,231	△193,100
法人税、住民税及び事業税	8,544	8,249
法人税等合計	8,544	8,249
中間純損失（△）	△229,775	△201,350
親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△229,775	△201,350

中間連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純損失（△）	△229,775	△201,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82,423	17,590
退職給付に係る調整額	△3,226	△6,387
その他の包括利益合計	79,197	11,202
中間包括利益	△150,577	△190,147
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△150,577	△190,147

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失（△）	△221,231	△193,100
減価償却費	268,435	268,680
減損損失	－	133
引当金の増減額（△は減少）	△14,038	△25,738
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△2,287	△2,452
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△13,676	△3,623
受取利息及び受取配当金	△20,318	△19,941
支払利息	31,603	40,379
固定資産除却損	862	7,800
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△98,055
売上債権の増減額（△は増加）	75,369	△132,745
棚卸資産の増減額（△は増加）	213,735	△271,137
仕入債務の増減額（△は減少）	8,283	295,840
未払消費税等の増減額（△は減少）	33,490	△52,441
その他	△60,925	30,214
小計	299,303	△156,188
利息及び配当金の受取額	20,318	19,941
利息の支払額	△32,015	△41,568
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	2,716	△16,341
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,322	△194,157
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,565	△71,609
固定資産の除却による支出	－	△7,800
無形固定資産の取得による支出	△2,412	△35,037
投資有価証券の取得による支出	－	△2,576
投資有価証券の売却による収入	－	133,144
貸付金の回収による収入	162	164
定期預金の増減額（△は増加）	△167	△282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,983	16,003
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	225,000	25,000
長期借入れによる収入	210,000	－
長期借入金の返済による支出	△275,226	△254,984
リース債務の返済による支出	△141,008	△131,172
配当金の支払額	△17	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,747	△361,159
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	267,087	△539,313
現金及び現金同等物の期首残高	1,081,563	1,640,540
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,348,651	1,101,226

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、食肉加工品・惣菜その他加工品の製造及び販売、食肉の加工及び販売並びにこれに付随する業務を事業内容としており、これらを統合し食肉及び食肉加工品の製造・販売を単一のセグメントとして事業を行っております。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

（重要な後発事象）

（投資有価証券の売却）

当社は、2026年10月27日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議致しました。

(1) 投資有価証券売却の理由

政策保有株式の縮減を進め、資本効率の向上を図るため

(2) 投資有価証券売却の内容

売却株式　　当社保有の上場有価証券１銘柄

売却時期　　2026年10月28日から2026年11月30日

売却益　　約80百万円（見込み）